

CASBEE-広島 (2010年ver.1)
島本テナントビル

用途等で評価が不要となる項目については、自動的に網掛けが入ります
欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE広島 2009年版
■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.6
Q1 室内環境			0.40					2.7
1 音環境		2.5	0.15		-			2.5
1.1 騒音		3.0	0.40		-			
1 暗騒音レベル		3.0	1.00		-			
	設備騒音対策		-		-			
1.2 遮音		1.8	0.40		-			
1 開口部遮音性能		1.0	0.60		-			
2 界壁遮音性能		3.0	0.40		-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-		-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-		-			
1.3 吸音		3.0	0.20		-			
2 温熱環境		2.5	0.35		-			2.5
2.1 室温制御		2.5	0.50		-			
1 室温設定		1.0	0.38		-			
	夏・冬・春・秋の室温設定		-		-			
3 外皮性能	外皮性能計算より	4.1	0.25		-			
4 ゾーン別制御性		3.0	0.38		-			
	夏・冬・春・秋のゾーン別室温設定		-		-			
	夏・冬・春・秋のゾーン別室温設定		-		-			
	夏・冬・春・秋のゾーン別室温設定		-		-			
	夏・冬・春・秋のゾーン別室温設定		-		-			
2.2 湿度制御		2.0	0.20		-			
2.3 空調方式		3.0	0.30		-			
3 光・視環境		2.7	0.25		-			2.7
3.1 昼光利用		3.0	0.30		-			
1 昼光率		3.0	0.60		-			
2 方位別開口			-		-			
3 昼光利用設備		3.0	0.40		-			
3.2 グレア対策		3.0	0.30		-			
	グレア対策		-		-			
2 昼光制御		3.0	1.00		-			
3.3 照度		1.0	0.15		-			
1 照度	2F事務室シャームゾンにおいて1070lx	1.0	1.00		-			
	照度対策		-		-			
3.4 照明制御		3.0	0.25		-			
4 空気質環境		3.3	0.25		-			3.3
4.1 発生源対策		4.0	0.50		-			
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆を全面的に使用	4.0	1.00		-			
	化学汚染物質対策		-		-			
	化学汚染物質対策		-		-			
4.2 換気		2.3	0.30		-			
1 換気量		3.0	0.33		-			
2 自然換気性能		3.0	0.33		-			
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.33		-			
	換気対策		-		-			
4.3 運用管理		3.0	0.20		-			
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50		-			
2 喫煙の制御		3.0	0.50		-			
Q2 サービス性能		-	0.30		-			2.8
1 機能性		2.1	0.40		-			2.1
1.1 機能性・使いやすさ		1.0	0.40		-			
1 広さ・収納性		1.0	0.33		-			
2 高度情報通信設備対応		1.0	0.33		-			
3 バリアフリー計画		1.0	0.33		-			
1.2 心理性・快適性		2.6	0.30		-			
1 広さ感・景観	2F事務室シャームゾンにおいて246.79/48=5.14㎡/人	4.0	0.33		-			
2 リフレッシュスペース		3.0	0.33		-			
3 内装計画		1.0	0.33		-			
1.3 維持管理		3.0	0.30		-			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50		-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50		-			
2 耐用性・信頼性		3.2	0.31		-			3.2
2.1 耐震・免震		3.0	0.48		-			
1 耐震性		3.0	0.80		-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20		-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.7	0.33		-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23		-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	タイル貼り→耐用年数40年	5.0	0.23		-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09		-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08		-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水:塩ビライニング鋼管→B、排水:硬質塩化ビニル管→B、冷媒管:銅管→C	5.0	0.15		-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23		-			

2.4 信頼性			3.0	0.19			
1	空調・換気設備		3.0	0.20			
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20			
3	電気設備		3.0	0.20			
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20			
5	通信・情報設備		3.0	0.20			
3 対応性・更新性			3.5	0.29			3.5
3.1 空間のゆとり			4.6	0.31			
1	階高のゆとり	1~3F→4.2m 4F→4.0m	5.0	0.60			
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率計算より0.1429	4.0	0.40			
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31			
3.3 設備の更新性			3.2	0.38			
1	空調配管の更新性		3.0	0.17			
2	給排水管の更新性		3.0	0.17			
3	電気配線の更新性		3.0	0.11			
4	通信配線の更新性		3.0	0.11			
5	設備機器の更新性		3.0	0.22			
6	バックアップスペース	受変電設備、太陽光発電、空調室外機などにスペースをとっている。	4.0	0.22			
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30			2.1
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30			1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40			3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30			2.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50			
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-			3.1
LR1 エネルギー			-	0.40			3.4
1 建物の熱負荷抑制			3.0	0.30			3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20			3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50			
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50			
3 設備システムの高効率化		設備の高効率化 ERR=10	4.4	0.30			4.4
4 効率的運用			3.0	0.20			3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50			
4.2	運用管理体制		3.0	0.50			
LR2 資源・マテリアル			-	0.30			2.8
1 水資源保護			3.0	0.15			3.0
1.1	節水		3.0	0.40			
1.2	雨水利用・雑排水再利用		3.0	0.60			
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67			
2	雑排水再利システム導入の有無		3.0	0.33			
2 非再生性資源の使用量削減			2.7	0.63			2.7
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07			
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24			
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20			
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20			
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.05			
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	OAフロア	4.0	0.24			
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.2	0.22			3.2
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32			
3.2	フロン・ハロンの回避		3.3	0.68			
1	消火剤	ハロン消火剤を一切使用していない	4.0	0.33			
2	断熱材		3.0	0.33			
3	冷媒		3.0	0.33			
LR3 敷地外環境			-	0.30			3.0
1 地球温暖化への配慮		外皮に断熱材を使用	3.6	0.33			3.6
2 地域環境への配慮			2.5	0.33			2.5
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25			
2.2	温熱環境悪化の改善		2.0	0.50			
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25			
1	雨水排水負荷低減		-	-			
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33			
3	交通負荷抑制	駐輪場、駐車場あり。また導入路の位置を配慮している。	4.0	0.33			
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.33			
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33			3.0
3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40			
1	騒音		3.0	1.00			
2	振動		-	-			
3	悪臭		-	-			
3.2	風害、日照阻害の抑制		3.0	0.40			
1	風害の抑制		3.0	0.70			
2	日照阻害の抑制		3.0	0.30			
3.3	光害の抑制		3.0	0.20			
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70			
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30			